

# 小学校

# 不登校率 連続ワースト1

## 昨年度

文部科学省は27日、学校基本調査を発表し、県内で2011年度に学校を30日以上休んだ不登校の割合(出現率)は、小学校で0.55%(前年度比0.03ポイント増)に上り、全国で2年連続ワースト1になった。中学校では2.92%(同0.19ポイント減)で、ワースト7。全国平均は、小学校0.33%、中学校2.64%だった。県教委は「非常に厳しい結果と受け止める。これまでの対策が適していないのであれば、再点検したい」としている。(藤原慎也)

## 42% 「情緒的混乱」理由

県教委によると、県内で不登校の児童・生徒数は、小学校が599人(同29人増)で2年連続で過去最多、中学校が1681人(同90人減)。自治体で不登校の出現率が高いところは、小学校が赤磐市(1.21%)、笠岡市(0.83%)、美作市(0.76%)など。中学校では、赤磐市(4.64%)、瀬戸内市(4.23%)、美作市(3.85%)だった。

また、不登校の状態が前年度から継続している児童・生徒の比率を学年別にみると、中学3年(69.7%)、小学6年(55.6%)、中学2年(54.9%)で高い割合を示した。不登校になったきっかけは、「不安など情緒的混乱」(小学校42.2%、中学校27.3%)や「無気力」(小学校21.8%、中学校22%)など、本人に関わる要因が多かった。

## 中学も7位と低迷

ほかに、小学校では「親子関係をめぐる問題」(12.4%)、「家庭の生活環境の急激な変化」(10.4%)など家庭に関する内容が目立ち、中学生では「あそび・非行」(16.4%)に加え、学校に関する要因の「いじめを除く友人関係をめぐる問題」(13.8%)が多かった。「いじめ」を挙げたのは、小学校で0.7%、中学校で2.3%だった。

## 県教委 環境改善サポーター導入

不登校に対する県の取り組みはどうか。県教委は今年度、学校と家庭のつなぎ役となる「家庭環境改善サポーター」制度を導入した。民生委員や教員OBらを不登校の出現率が高い県内の16中学校区に配置。不登校の家庭を訪ね、状況を学校へ伝えるなど地域との橋渡し役を担う。必要に応じて、児童相談所などと連携して子育ての悩みや虐待にも対応するが、まだ取り組みは始まったばかりだ。

県内で不登校の出現率が高いのはなぜか。不登校・ひきこもりの実践、臨床研究を約40年間続けているNPO法人「教育研究所」の牟田武生所長(写真)に原因や解決方法について聞いた。(檜崎基弘)

出現率 病気や経済的理由を除いて、学校を連続、または断続して30日以上欠席する「不登校」状態の全児童・生徒に占める割合。

教育研究所長に 解決法など聞く

注目する点が2点ある。一つめは、不登校の出現率に地域格差がある。赤磐、瀬戸内市など小学校で出現率が高い地域で



瀬戸内市など小学校で出現率が高い地域で

## 長期化への対応 不十分か

は、中学校でも依然として高いままになっている。小・中学校で連携ができていない可能性が指摘できる。もう一つは、不登校の継続状態が目立つ。前年度から不登校状態が継続している児童・生徒の比率が、小学6年から中学3年に掛けて高い水準を示している。ちょうど児童が思春期に入る時期にかけて、不登校が長期化していることが読み取れる。

学校が不登校の児童・生徒に対し、初期段階には対応する一方で、長期化する可能性がある。長期化する可能性がある。長期化する可能性がある。

性がある。長期化は引きこもりにつながり、学習の停滞など、成長に大きな悪影響を与えてしまう。これらに対応するには、スクールカウンセラーや学校、福祉・医療機関、児童相談所などの連携が必要だが、岡山では、まだ地域ぐるみでの取り組みが不十分ではないか。例えば、民生委員の一部は、子どもを見守る主任児童委員としての役割を担う。都会と違い、人と人とのつながりが残る地方では、彼らを地域と学校とのパイプ役として活用することもできるはずだ。

問し、状況を学校へ伝えるなど地域との橋渡し役を担う。必要に応じて、児童相談所などと連携して子育ての悩みや虐待にも対応するが、まだ取り組みは始まったばかりだ。

一方、各小中学校では「欠席して3日目までの対応が大切」とし、担当教諭が家庭に連絡して児童・生徒の様子を尋ねるなど、早期にアプローチする取り組みを続ける。しかし、担当が自宅に迎えに行っても、「まだ寝ている」と言われ、様子をうかがうことができないこともあるという。「立ち入ってほしくないのか、非協力の家庭も少なくない」と県教委。生徒指導推進室の石田隆室長は「登校をしづる子どもの背中を押してもらおうなど、家庭にも協力を呼び掛けたい。医療や保健福祉など、あらゆる角度から原因を分析、粘り強く対応を探りたい」と話している。

### 小中学校の不登校出現率と全国順位の推移

年度	小学校		中学校	
	出現率(%)	ワースト順位	出現率(%)	ワースト順位
2007	0.47	⑤	3.19	⑩
2008	0.46	③	3.11	⑧
2009	0.47	②	3.06	④
2010	0.52	①	3.11	⑥
2011	0.55	①	2.92	⑦